

新篇武藏風土記稿

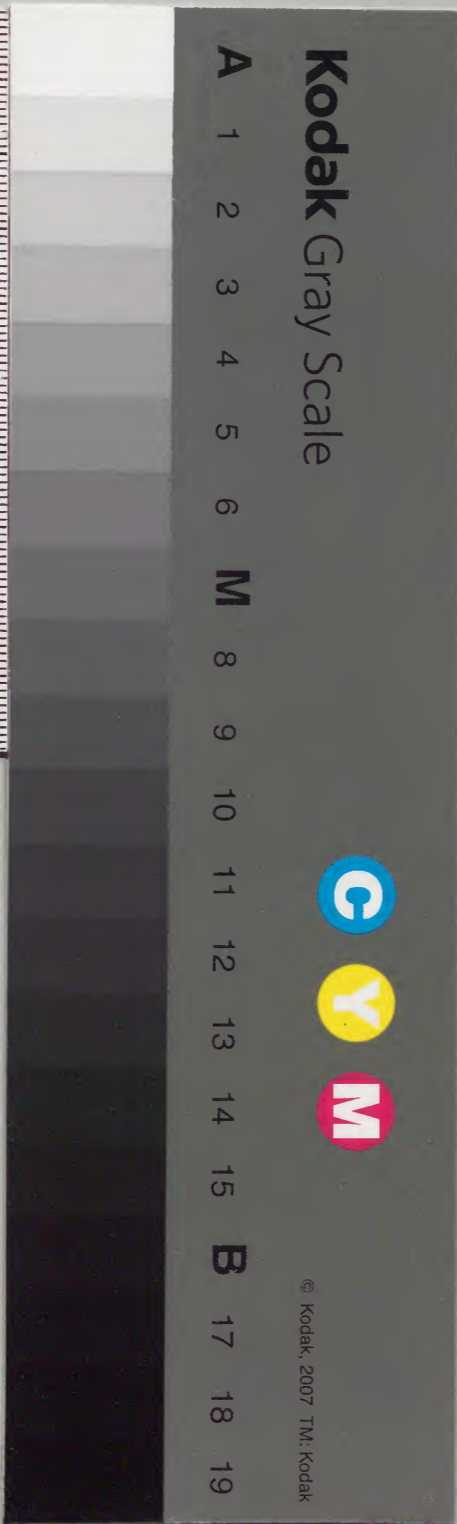
高麗郡 卷一之
卷三

五十九

和書門			
二二七	三三九	八〇	冊
一三四	函	架	冊

庫文閣内	
二二七	三三九
一三四	八〇
函	冊
架	冊

内閣文庫	
番號	和 22739
冊數	80 (59)
函號	267 79



新編武藏風土記稿

高麗郡之部目錄

卷之一

郡圖

卷之二

唐竹村

中藤村上郷

中藤村下郷

上赤工村

上直竹村

苅生村

曲竹村

卷之三

小瀬戸村

上畑村

總説

赤澤村

中藤村中郷

原市場村

下赤工村

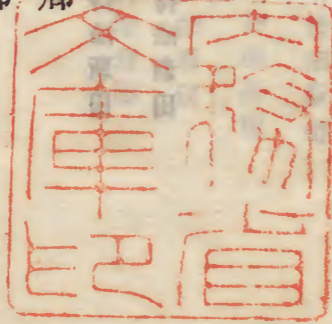
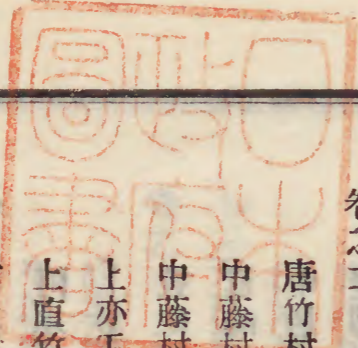
下直竹村

小岩井村

大河原村

下畑村

内 一 一 一 二 九 號



久須美村

飯能村

矢下風村

碧淵村 附持添新田

卷之四

阿須村 附持添新田

上岩澤村 附持添新田

笠縫村

真能寺村

中居村 附持添新田

雙柳村 附持添新田

築地新田

卷之五

篠井村

上廣瀬村

永田村

久下分村

前ヶ貫村

落合村

佛子村

下岩澤村 附持添新田

川寺村

中山村 附持添新田

青木村 附持添新田

野田村 附持添新田

根岸村 附持添新田

下廣瀬村 附持添新田

阿比奈新田 附持添新田

上川崎村

平松村 附持添新田

下加治村 附持添新田

馬引澤村 附持添新田

吉田村 附持添新田

卷之六

天沼新田

田木村 附持添新田

宮澤村 附持添新田

小久保村 附持添新田

下川崎村 附持添新田

蘆荻場村 附持添新田

栢原村 附持添新田

的場村

平塚村

下小坂村

小堤村 附持添新田

下廣谷村 附持添新田

大塚野新田

卷之七

上戸村 附持添新田

平塚村新田

鯨井村 附持添新田

上廣谷村 附持添新田

五味ヶ谷村 附持添新田

高麗郡惣目録

戸宮村

藤金村新田

上大谷澤村 附持添新田

中澤村 附持添新田

三ツ木村 附持添新田

鷹折村新田

上新田村

下新田村

藤金村

太田ヶ谷村 附持添新田

下大谷澤村 附持添新田

笠幡村 附持添新田

鷹折村

高倉村 附持添新田

中新田村

下新田村新田

卷之八

高萩村 附持添新田

高萩新田

上鹿山村 附持添新田

下鹿山村 附持添新田

町谷村 附持添新田

原宿村 附持添新田

下高萩村

女影村 附持添新田

中鹿山村 附持添新田

光音寺鹿山村 附持添新田

上田波目村 附持添新田

平澤村 附持添新田

卷之九

猿田村 附持添新田

新堀村

栗坪村

高麗本郷

梅原村

卷之十

清流村

久保村

白子村

虎秀村

下井上村

野々宮村 附持添新田

新堀新田

榆木村 附持添新田

高岡村

臺村

横手村

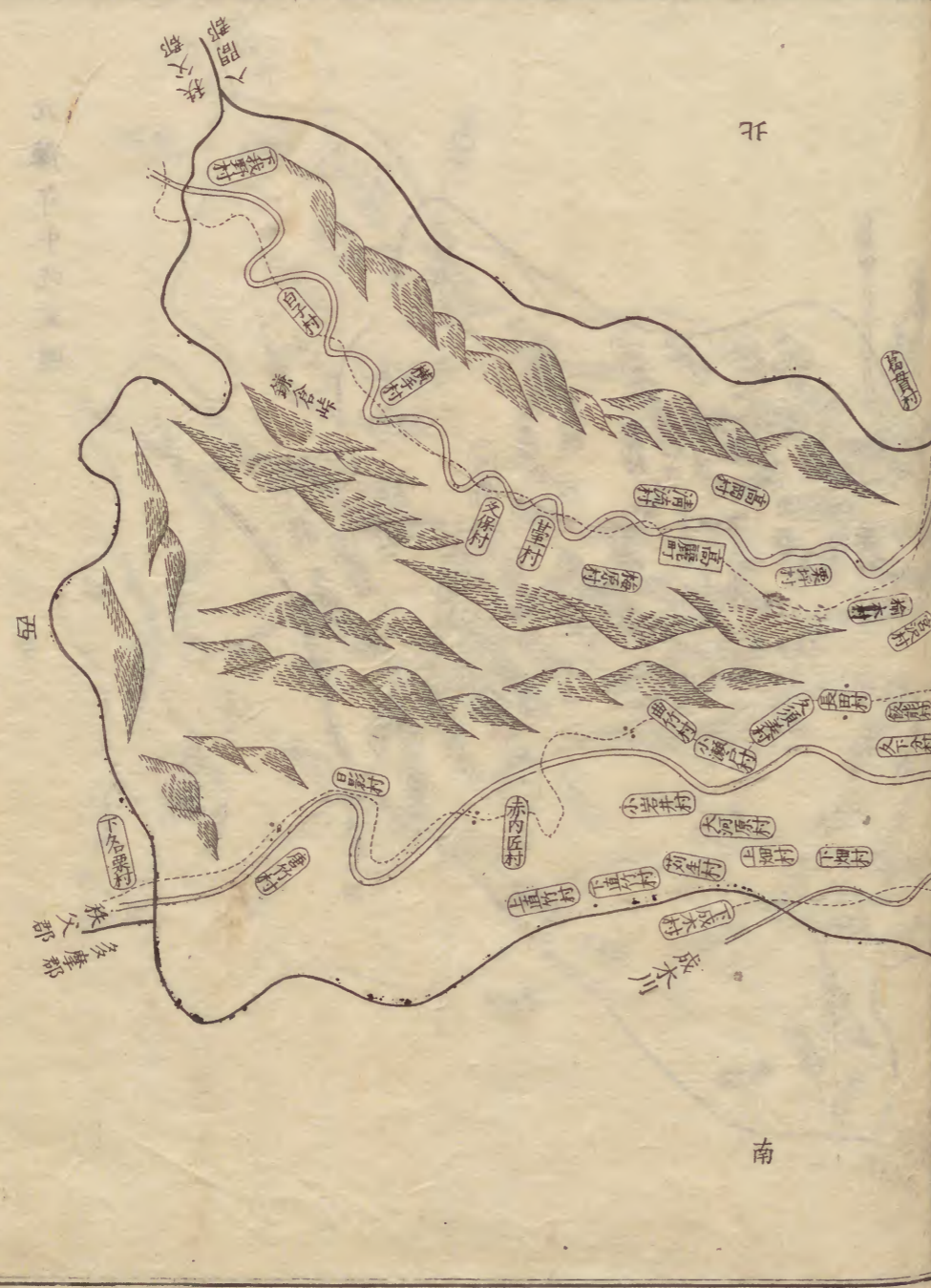
平戸村

上井上村

長澤村

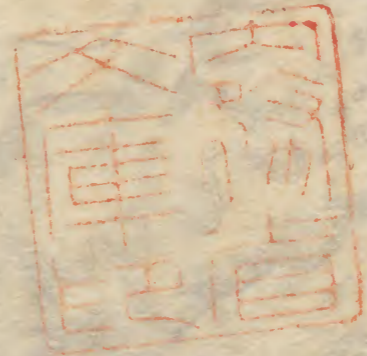
通計一百十三村

リト是等ノ木ナルモ知ヘカラスカタク信シカタシトイヘト土人ノ傳フルマ、ナ姑
ク茲ニノス又新堀村聖天院ノ境内ニ高麗王ノ館蹟及ヒ墓碑等アリソノ餘大官明神
社傳等ニ委シケレハ推テ知ルヘシ郡中ノ村里多クハ白髭明神又ハ大官明神ト祭り
鎮守トスルハ高麗王ノコトナル由即チコノ新堀村ヨリ起リテ郡中所々ニアリコレ
ソ其始ヲ欽慕スルユヘナルヘシ又古クヨリ世ニ武藏鎧ト稱スルモノアリ此處ニ遷
サレタル高麗人ノ造ルトコロト云盛衰記ニ烏山重忠小坪合戦ノ時武藏鎧ヲ用ユト
云今ノ世ニ五六鎧ト稱スルモノハ其遺製ナルヘシ扱本郡ハ往古多磨郡ヨリ通シテ
人間郡及ヒ高麗郡ニ聯縣トシテ茫々タル原野ナリシニ是ヲスヘテ武藏野ト稱セン
ナリステニ元弘年中新田左中將武藏野ノ合戦アリシナトイフハ即チコノ郡ニ亘リ
テノコト、見ユ今ノ篠井村ノアタリ壘壁ノ遺蹟アルモノノ頃構ヘシモノト見ユ又
柏原村ト廣瀬村界ノ東邊人間川ヲ八町ノ渡シト云傳フ是ソ堤ナトモテ流ヲサ、エ
シ廣濶ナル所ト思ハル、ナリ又ソノアタリ霞ケ關トテ當國ニ名々、ル名所ハ此
所ナリト云後世分レテ人間野トナリ或ハ入間ノ里ト云シナラン又高麗原ト云ルハ
今ノ新堀村邊ナリ南北十三四町東ノ的場村マテ二里半許渺々タル平原ナリシト云
尊氏將軍ノ文書ニ觀應三年閏二月廿八日高麗原ニ戦フト見エタリ按スルニ靈龜ノ



元祿年中改定圖





前此郡ヲ置サル時ハ草昧茫々タル間地ナルカ恐クハ本郡モト入間郡ノ分郡ト思ハ
ル、ニハ元明紀ニ云和銅六年五月甲子ニ畿内七道諸國郡郷名著好字其郡内所生銀
銅彩色草木禽獸魚虫等物具録色目及土地沃墾山川原野名號所由又古老相傳舊聞異
事載于史籍書上ストコレ諸國風土記ヲ奉セラレシ初メナルヘシサレハイカナル迂
僻ノ間地下イヘト孰レノ郡郷ニカ屬セサルコトハアルマシ和名鈔ニ廣瀨ヲ訓シテ
比呂世トシ入間郡ノ部ニノス文德實錄ニ嘉祥三年廣瀨神社ヲ官社ニ列ストソノ時
廣瀨村ハナチ入間郡ニ屬ス上ニ靈龜ノ分置ヨリ下モ嘉祥ニ至マテ百三十餘年ニ及
ヘトモ入間郡ト書セリ和名鈔ニハ廣瀨ヲ入間郡ノ部ニノセ伊勢物語ニハ三芳野ヲ
入間ノ里ト記セリ的場村ニ三芳野塚アリ上ハ戸村ニ三芳野道場アリイツレモ入間
郡ニシテ今本郡ニ屬スサレハ近キ世ニ及ヒテモ入間郡トシルセシモノアリ天正十
九年ノ御朱印篠井村觀音堂佛子村高正寺鐘ノ銘ナトニモ入間郡トアリ上ハ戸村日
吉山王棟札ニハ寛延年中スラ猶入間郡ト書セリ小田原北條家人所領役帳ニ新田又
七郎カ領セシ頃河越三十郷ノ内上ハ戸村トノス按ニ入間川ヲ狹テ東西ニアル村々
ナサスナルヘケレト今イツレノ村ト云コトヲシラス平戸村虎秀村上下井上村長澤
村ハモト一村ニシテ入間郡我野村ト唱ヘシカ今ハ本郡ニ屬シテ五ヶ村トナリ下我

野郷ノ唱ヘチオヘリ上我野郷ハ秩父郡ニ屬セリ又駒寺野新田勘六新田森戸新田ハ
入間郡ニ屬シテ本郡ノ中ニ駁雜スコレ全ク入間郡ヨリ分チシモノト思ハルソノ名
唱書記混同セルモノハ舊染ノ遺俗往々誤リテ傳フルモノナルヘシ既ニ前ニ辨スル
コトク武藏野ト云入間野ト云高麗原ト云コレスヘテ一圓ノ武藏野ニシテ杳渺タル
曠野西ニ亘リ秩父郡ノ邊ニ至マテ後世分レテ漸々新墾シ或ハ田畠トナリ或ハ村落
トナリ人家モ從テ出テ來リ古トハ異ナルコト推テ知ルヘシ回國雜記ニ載ス上ハ戸
村ヲ謂テ川越ト書スルヲモテ考レハ往古川越ノ地ハ川ヲ狹テ稱スルコト明ラケシ
日吉山王鐘ノ銘ニ文應元年ニ河肥庄ト書スルモノアリ左スレハ川越ノ唱モトヨリ
アリシコトイヨク明ラケシ河ナ川トシ肥ヲ越ト書スルモノハ後世改ムルモノナル
ヘシサレハ川越城ノ壘跡ハ日吉山王社地ナルカ或ハ常樂寺ノアタリナルヘシミチ
城趾壘跡トハ云傳レト睨トセシ證左ナシ郡ノ地域ハソノ形チ東西ニ長ク南北ハ狹
シ中ニモ郡ノ中央ト覺シキ所ハ括レタル如ク狹シサテ其クハレタル所ヨリ東ハ原
野田畠多ク村落ソノ間ニ點綴セリ西ハ地形大率崎嶇多クハ嵯峨ニ據リテ畠ヲヒラ
キ卑隰ニ就テ田ヲ作り村落モマタ高處迂僻或ハ澤間溪流ニ添テ民戸各處ニ散在ス
然ルニヘニ山畑ノアルアタリハ柴モシクハ雜木モテ藩籬ヲナス謂ニル鹿柴ナトハ

云ヘキ者カ又陷穽ヲウカチテ猪鹿ヲ防ク所モアリ西端ニ至リテハ秩父郡ノ山々
犬牙接續シテ經界ヲナセリ諸郡中ヲ流ル、川二流アリ北邊ノ村落ヲ流ル、ハ高麗
川ナリ南邊ノ村落ヲ流ル、ハ入間川ナリ中間ノ括レタル所ニ至リテハ兩川相セハ
マリテ其間僅ニ一里許ナリコノ郡西ハ秩父郡ニ接シ西南間ハ多磨郡ニ續キ南ヨリ
東北ヘ環リテ入間郡ナリソノ界ハ東ヨリ南ヘ入間川ヲ界トシ佛子村阿須村ノ邊ハ
山ヲ界トシ上下畑村ハ成木川ヲ界トスソレヨリ西北ヘメクリテハ地形犬牙シテ山
ノ頂ヲ界ヘリ良ノ方ハ原野田畠或ハ徑路ヲモテ界トセリ以上ノ經界ハ後世大ニ變
革セシコト、思ハル、ナリ東西ノ長サ七里ハカリ南北ノ廣サ三里ニハ近シ中間ノ
狹キ所ハ一里半許中央ハ中居村中山村ノ邊ナリ土性ハ大抵野土多ク眞土少シ西ノ
方山村ハ石交リノ眞土ナリ水田ハ陸田ニ比スレハ三分ノ一ナリ其水田ハ多クハ中
間ヨリ東ニアリ西ノ方ニハ僅ニ谷ツ田ノミアリテ多クハ山畑ナリ郡中ニ二條ノ往
遷アリ其一ハ秩父郡名栗村邊ヨリノ通路ニテ赤澤村ヨリ青木村中居村邊マテ三里
許ヲ經テ兩岐シ南北ニ分ル南ハ一里許ヲ經テ根岸村ニ達ス北モ一里餘ヲ經テ入間
郡岩口村ニ達ス又一條ハ秩父郡我野郷ヨリ三里餘ヲ經テ是モ又岩口村ニ達ス此餘
二條ノ往來アリ其一ハ川越城下ヨリ上廣谷村ヘカ、リ戸宮村ヲ經テ一里半ハカリ

ニシテ入間郡石井村ニ達ス是ハ秩父ヨリ江戸ヘノ街道ナリ其一ハ入間郡黒須村ヨリ根岸村ヲ北シテ高萩村ヨリ膳折村ニカ、リ入間郡坂戸村ニ達ス是ハ八王子ヨリ日光ヘノ往來ナリ扱人物風俗等ニ至リテハサセル殊異ナシトイヘトモ西ノ方山ニヨル村落ハナチサヲ年穀大抵一歳ヲ終ルニタラス其民ハ総テ山澤ノ利ニヨリテ生理ヲナス材木モシグハ炭薪ヲ以テ粟米ニ換フコノユヘニ丁壯ハ柚取炭焼ヲ業トシ處女婦嫗ニ至マテ是ヲ負擔シ備錢ヲトル又ハ石灰ヤク村ハ老弱ミナ是カタメニ奔走シテ各其資ヲ得ルトイフ最モ鄙野ノ風俗ニシテ質朴トハイヘトモ寛富ノ民或ハ里老輩ニ至リテハ頗ル都下ノ風ヲ學フモノアリ

和名鈔所載合郷二

上總 加無豆布佐ト訓ス今其遺命ヲシラス

高麗 古萬ト訓ス今高麗郷高麗本郷アリ此郷ヲ唱フルモノ合村十四アリ其名ノ起ハ續日本紀ニ天平勝寶元年十一月己未背奈王福信從四位上改本姓賜高麗朝臣云云トミユ此頃ヨリ唱初メシニヤ又七黨系圓丹ノ黨ノ内高麗五郎經家ナルモノ見ヘタリ郡内新堀村ノ民カ藏セル正平觀應ノ頃高麗彦四郎經澄ソノ餘同氏ノモノヘ足利將軍ヨリ賜リシ文書アリ此等ノ人々モ地名ヲ以テ氏トセシコ

トニ思ハルサレハ領名モコ、ニ起ルナランカトニカク舊キ唱ナルコトハ論ナシ

廣瀨 比呂世ト訓ス入間郡ノ部ニ出タリ後世本郡ニ屬ス説前ニ辨ス

中古所唱郷庄

高麗郷説上ニ出

加治郷 或書ニノス治承五年十一月十一日鎌倉將軍ヨリノ下文ニ新田入道淨西

武藏國加治郷司職ニ補セラレ地ノ百姓等ニ示スノ文見エタリコレモフルキ唱

ナルコト論ナシ

勝呂郷 説入間郡ニ辨スレハコ、ニ畧ス

三芳野郷 説上ニ出

淺羽庄 説入間郡ニ辨ス下同シ

山田庄

春原庄 入間郡今市村法恩寺年譜録ニ春原庄廣瀨ト見ユ今コノ唱ナシ

今所唱郷庄領

高麗郷 合村十四説上ニ辨ス

新編武藏國志上卷一
高麗郡

加治郷 合村九説上ニ辨ス

勝呂郷 合村六説入間郡ニ辨ス

中山郷 合村二今中山村アリコレヨリ起リシ名ナルヘシ

三芳野郷 合村十説上ニ出

霞郷 合村六今栢原村ノ内霞ケ關ノ名跡アリコレヨリ起リシ名ナルヘシ

廣谷郷 合村三今廣谷村アリコレヨリ起リシ名ナルヘシ

日影郷 合村五説末ニノス

下我野郷 合村五入間郡今市村法恩寺年譜録越生左馬允有道寄附狀ニ承元二年

三月武藏國吾那上下云云トアリ土人ノ説ニ我野ハ高麗國ノ地名ニシテアカナ

ト云ヘキナイツシカ我野ト改シト云今本郡ニ下我野アリテ秩父郡ニ上我野ア

リ

加治庄 合村七

淺羽庄 合村四説入間郡ニ出下同シ

山田庄 村一

高麗領 合村二十説上ニ出

加治領 合村四十七郡内中山村ノ弓手妻手ニアリテ屬スル村數四十二ト傳フレ

ト正保改定ヨリ今ニ至ルマテ分村又ハ合村セシモノアリテ今現在スル所スヘ

テ四十七村ニ及ヘリ七黨系圖ヲ按ニ丹之黨ノ内加治氏ハ其先高麗五郎經家ヨ

リ出テ加治太郎實家ト號スコレヲハ皆所在ノ地名ヲ始テ氏ニ稱セシナルヘシ

實家カ弟二郎家季元文二年武州ニ俣川ノ戰ニ畠山重忠カタメニ討死スト見コ

其頃ヨリ鎌倉將軍家ニ屬シ氏族等連縣トシテユノ地ヲ領セシコト、見ヘテ郡

中所々ニ加治氏ノ古墳及餘裔アリ領名ノ舊キコト知ラル

川越領 合村十説入間郡ニ出

松山領 村一比企郡ニ松山町アリ是等ヨリ起レル名ナルヘシ

未勘 合村十二

武藏野新田 合村十五内八ヶ村ハ本村ニ隸シテ持添新田ト稱スルモノナリ

關郡合村一百十三 内宿驛二

右件ノ村今現在ノ數ナリ此内正保ヨリ元祿ノ間原野ヲ開キテ村落トナシ村長

アリテ一村トナル新田ノ分合テ六ヶ村又元祿以後開墾セシ新田ノ分本村ニ隸

シテ多クハ民戸ナクシテ持添新田ト稱スルモノ四十八村内八ヶ村ハ武藏野新

新編武藏國志上卷一
高麗郡

田ノ内ナリ正保年間改定ノ時合村八十三元祿ニ至テ再訂ノ時合村一百五前ニ
比スレハ増加スルコト二十五村名ヲ減スルモノニ今現在ノ合村ヲ元祿ノ頃ニ
比スレハ又増加スルコト十減スル者ニナリ
日和田山 郡ノ西北ニアリ山足ヨリ絶頂ニ至マテ十五六町許東北ハ清流村ニテ
西南ハ高麗本郷ニ亘レリ其山ハ栗坪梅原清流高麗本郷ノ四村入會ノ秣場ナリ
絶巔ニ享保年中聖天院三十五世隆徹カ立タル寶篋塔アリ其下ニ金毘羅社秋葉
權現社アリ又ソノ南ニアタリ山腹ニ古塔ノ破碎セルモノアリ銘文ニ貞和第四
戊子十一月十一日比丘□□立ト仄ニ見ヘテ只基石ノミ全シ扱山ノ中腹ヨリ下
ハ杉松及ヒ雜木生ヒシケリテ縈回シソレヨリ上ハ峻巖險路ニテ匍匐シテ登ル
所ナトモアリ或ハ東ノ峰ヲ雌日和田ト云ヒ西ノ峰ヲ雄日和田ト稱スト云リ此
山ハ郡中第一ノ高山ナリ絶巔ヨリノソムトコロ連山群嶽蒼々靄々トシテ東觀
西鴨眼ニ遮ルモノナシ只西南ノ間ニ兀然トシテ聳ヘタルモノハ富士山ナリ
高麗川 水源ハ秩父郡小丸峠溪澗ノ際ヨリ沃キ出テ同郡坂本村ニテ派流相合シ
我野川トナリ三里許ヲ經テ本郡井上村ニ入高麗川トナル郡中ニ係ルコト三里
許屈曲周流シ平澤村ノ下ヨリ入間郡岩口村ノ下ニ入ルソレヨリ東流シテ一里

半許ヲ經テ同郡吉田村ノ下ニテ越部川ニ入ル扱テ此川ノ兩岸ニアリ村落橋ヲ
架シテ往來スルモノ大小スヘテ三十ヶ所許土人或ハ四十八瀬ト云砂利川ニシ
テ急流ナリ上流ニ至ホト危岩巨石頗多シ平水ハ廣狹淺深トモ大抵入間川ニ相
等シ水カサ増ルトキトイヘトモ筏流シノミニテ通船ナシ
入間川 水源ハ秩父郡ノ内ニヶ所ヨリ出其一ハ名栗ノ里妻坂峠ノ下ヨリイテ其
一ハ有馬山ノ北ナル谷間ヨリイツ其餘所々ヨリ小流出テ同郡名栗川俣ニテ合
シ名栗川ト云東流スルコト一里許ニシテ本郡ノ西邊赤澤村ニ入ル是ヨリ入間
川ノ唱アリ或ハ本郡落合村邊ヨリ西ヨリ名栗川ト云ヒ又ハ入間川ノ川上トモ
云フ東ノ方野田村邊マテ四里許ノ間ハ郡ノ内ヲ流レテ兩岸ニ村落アリ夫ヨリ
東ハ高麗入間兩郡ノ界ヲ流レ又四里餘ヲ經テ平塚新田ノ下ニテ入間郡紺屋村
ニ入テ東流ス此川モ高麗川ト同ク砂利川ニテ急流ナリヤ、上流ニ至レハ盤岩
小巨石多多無數ナリ川幅十間ヨリ二十間ニ及ヘリ深サ三四尺夏秋ノ間水カサ増
時ハ幅五六十間ヨリ百間餘ニ及ヘリ水路筏流シノミニテ通船ノ便リナシ渡舟
ハ根岸村鯨井村ノ下ニアリ此川ノ名モ舊ク世ニ聞ヘテ古戦ノ記録又ハ紀行ナ
中トニモ出ルコトハ入間郡ノ部ニノセタレハ茲ニハ畧セリ

高麗原郡

中藤川 水源ハ秩父郡中澤村子聖權現山ノ麓龍門ノ瀑泉ノ下流ニテ即チ中澤村
ヲ東ニ流ル、コト三十町許ニシテ本郡中藤村ニ入ル下流小瀬戸村ニテ入間川
ニ合ス此間水路一里半許川幅五間許
小畔川 水源ハ郡中宮澤村ヨリ沃キ女影村ヨリ高萩村ニカ、リ東ニ流レテ平塚
村ニ至リ入間川ニ合ス水路四里許平水深サ一二尺幅二三間ナレト鯨井村邊ニ
至リテハ平水三四尺川幅五六間ニ及ヘリ
成木川 水源ハ多磨郡上成木村ヨリ出テ東流スルコト一里許ヲ經テ下成木村ニ
至リ本郡上下畑村ニカ、リテ郡界ヲナス夫ヨリ岩淵村ニ入り東ニ流レテ落合
村ノ下ニテ入間川ニ合ス郡中ニ亘ルコト凡二十町川幅六七間ヨリ十間ニ及ヘ
リ平水ハ一二尺
高麗原 郡中ノ中央ヨリ東ニ據ル高麗原ハ舊ク唱フル所ニテ即チ今ノ新堀村邊
ナリト云説前ニ出ス
村市所出 繩筵ヲ第一トス近世青梅縞川越絹太織縞等ノ類ヲ出ス此市ノ起リハ
繩筵ヲモテ始マリシナレハ世ニ聞ヘテ飯能繩市ノ唱アリサレハニヤ此賣買ニ
限リテハ見世賃今ニナシト云或ハ此所ノ市ハ中山村ヨリ移シタルモノナリト

今ニ毎月六裁ニ六十ノ日ヲモテ市ヲ立テリ繩筵ハ多ク女影村鹿山村邊或ハ入
間郡出波目村坂戸村邊ヨリ出青梅縞絹太織ノ類其外ノ品物ハ郡中村里或近郡
ノ郷村ヨリ出セリ

中藤川
小畔川
成木川
高麗原
村市所出
繩筵

近世代

高麗原郡

唐竹村	小保井村
萩平村	不備村
土直井村	不備工村
土表工村	煎市井村
中道井工村	中道井中道
中道井土直	志新井
唐竹村	
高麗郡之二	

新編武藏風土記稿卷之一百七十七

高麗郡之二

唐竹村

唐竹村ハ郡ノ西ニアリ加沼領ニ屬ス村名ノ起リヲタツヌルニ土人ノ説ニ往昔コノ村ニ高麗ヨリ移シタル竹アレハトテ土人呼テ唐竹村ト云シトカヤ惜ムラクハ今ソノ種ヲ失フコトヲ按スルニ郡中ニ竹ヲ以テ名ツクル村ニハ唐竹アリ曲竹アリ直竹アリイカサマニモ竹ノ所謂アリテ名ツケシ村名ナランカ其事蹟イマーツモ詳ナルモノナシ江戸ヨリ十五里ノ行程ナリ四境東ハ平地ツ、キニテ原市場村ナリ西ハ山ツ、キソノ絶頂ヲ界トシテ赤澤村ニ隣リ南モ山ツ、キニテ峰界ヨリ即チ土直竹村ニ接ス北ハ入間川ヲ界トシテ對岸ハ赤澤村ナリ東西凡十二町南北モ相ヒトシコレヲ要スルニコノ邊攢峰巨嶺ニツ、マレタル村ナリ入間川ノ南岸ニ據テ家居スル民戸三十軒アリ土性ハ石交リノ眞土赤野土等ナリ陸田アリテ水田ナシ村民農隙ヲ以テ紙漉ヲ業トスルモノ古ヨリ多ク今ナチ七軒存セリ仍テ貢稅ノ外ニ紙フチ役錢ト云ルモノヲ出ス各差アリト云コノ村ヲ始トシ近隣ノ村々猶然リ當村旱損アリテ水害ナシ寛文八年深谷喜右衛門檢地シテ貢稅ヲ定ム正保ノ頃御料所ナリシカ延享四

年一橋殿領知トナリ今モ替ラス

高札場村ノ中程ニアリ

小名 辻ノ前 入久保 清水 宮ノ久保

入間川村ノ北界ヲ流ル西ノ方赤澤村ヨリ來リ村界ヲ流ルハ

橋二ヶ所赤澤村ト當村トノ界入間川ニ架ス各長

四十八曲嶺最モ險厄ニシテ四十八曲アリ一路ナリ曲徑羊腸

白鬘社慶安二年四月十五日御朱印ヲ賜ハル神體ノ銘文ニ天和四年二月廿八日

寶性寺瀧水山ト號ス新義眞言宗入間郡今市村法恩寺末本尊彌陀ヲ安ス慶安

龍向庵禪宗臨濟派赤澤村

觀音堂村民喜右衛門カ持

赤澤村

赤澤村ハ郡ノ西秩父郡ノ界ニアリ日影郷加沼領ニ屬ス往古ハコノ村及ヒ中藤村原市場村ノ三村ヲ合テ日影村ト唱ヘ一村ナリシカ何ノコロカ三村ニワカテリ正保ノ頃ハ日影村トノミアリ元祿ノ國圖ニハ中藤村原市場村赤澤村ト載タリ慶安二年コノ邊村々ノ御朱印ニモ日影郷トアリ江戸ヨリ十五里ノ行程ナリ四境東ヨリ北ヘメ

クリ原市場村ニツ、キ正東ノ方ハ谷間ニテ平地續キ北ノ方ハ山ヲ界トス西ハ秩父郡下名栗村ニ隣リテコレモ同シク谷間平地ツ、ギナリ南ハ多磨郡上成木村ノ山界ナリ又唐竹村モ少クカ、レリ北ニ依リテハ入間川ヲ隔テ、隣界ヲナセリ東西ハ一里許南北ハ八町ホト此邊西ハ元ヨリ秩父ノ嶺ツ、キソノ他ハ本郡ノ攢峰ヒトシク圍繞シテコレヲ要スルニ此村ナトハ最モ峽間ノ村ニテ入間川ヲ中間ニ包ミシ村ナリ民家多クハコノ川ノ北岸ニアリ或ハ澤間ニ家シ或ハ山足ニ僻在スルモノスヘテ戸數百十九軒ナリ農隙ニ紙漚ヲ業トスルモノ古ヨリアリテ今尙十四五戸アリ其他ハ山稼ナリコノ利潤ノ遍キユト又少ナカラスト云土性入間川ノ北ハ小石交リノ眞土ナリ川ヨリ南ハ黒野土ナリ畑ハ山ニヨリテ多ク田ハ所々ノ谷合ニ就テワツカアリ寛文八年深谷喜右衛門檢地シテ貢稅ヲ定ム紙舟役錢ト云ルモノ古ヨリ今尙貢ス正保ノ頃ハ御料所ナリシカ延享四年一橋殿領知トナリシヨリ今モ替ラス

高札場村ノ中程ニアリ

小名 中屋敷 日影 茶内 赤澤 鹿戸 黒指 久林

入間川西秩父郡下名栗村ヨリ來リ村間ヲ流ルハコト廿五六町ニシテ當村ト唐竹

橋三ヶ所二ヶ所ハ唐竹赤澤兩村ニテ造ル唐竹村ノ條ニ出セリ一ハ秩父郡ト當郡

ト當村ニテツクル即チ郡界ノ

橋ニテ冬春ノ間ノミ置ケリ

妙見社 慶安二年二月十五日御朱印ヲ附セラル社内ニ元祿中ノ棟札アリソノ文ニ

大輔岡部小次郎佐久林民部少輔再興

白髭社 同寺 鰐口一口ニ奉掛觀世音鰐口一丁上州勢田郡安善郷元龜四年三月ノ銘

五日赤右馬 佐敬白ト有

圓福寺 久林山ト號ス禪宗曹洞派郡内飯能村能仁寺末本尊釋迦ヲ

圓光寺 明王山ト號ス禪宗臨濟派村内金錫寺末本尊不

冷壽院 磨郡下木村安樂寺末ナリ

勝輪寺 橋向山ト號ス禪宗臨濟派村内金錫寺末本尊釋迦ヲ安ス慶安二年釋迦堂願

九日遊鎌倉上杉ノ御奉光院殿心月了松大居士加治兵庫大夫頼胤享祿元年十月十

修理亮胤勝弘治三丁巳三月廿一日北條陸奥守氏照公ニ御奉公トアリ寺ノ傍ニ五輪

大居士加治左衛門信胤元和八年四月廿二日江戸ニ御奉公トアリ寺ノ傍ニ五輪

ノ石碑三基アリ是モ加治氏ノ墓碑 天王社 天神社

金錫寺 河清山ト號ス禪宗濟家ニテ錄倉建長寺末ナリ本尊地藏ヲ安ス開

月牌堂 本願寺 松平山ト號ス前ニ載ル金錫寺末開山大陽永徳三年 辨天社

妙見寺 日影山千萬坊ト號ス本山修驗郡内篠井村

舊家者里正彌五郎 前ノコトハ傳ヘス尙小瀬戸村ノ條ト合セ見ヘシ

中藤村上郷

中藤村中郷

中藤村下郷

中藤村ハ郡ノ西秩父ノ郡界ニアリ往古ハ郷庄ノ唱ナクシテ中藤原市場赤澤ノ三村
ナ合セ日影村ト唱ヘテ一村ナリシカ何ノ頃カカク區別セリ正保ノ國圖ニハタ、日
影村トノミアリ元祿ノ國圖ニハ中藤村原市場村赤澤村ト載タリ慶安二年此邊ノ村
ノ御朱印ニモ皆日影村トアリサテ中藤村ハ何ノ頃カ上中下三村ノ體ヲナシ土人コ
レヲ中藤三郷ト唱フ江戸ヨリ十四里ノ行程ナリ東ハ谷間ツ、キニテ小瀬戸村ナリ
巽ヘメクリ峰續キニテ曲竹村ニ接ス西ハ谷間ツ、キ秩父郡中澤村ニ隣リ南ハ山ヲ
界トシテ本郡原市場村ニ續キ北ハ平戸村上下井上村秩父郡南村ニ接比ス東西凡一
里半許南北モ大抵同シ地形西ハ高ク東ハ卑シ是ヲ要スルニ四面皆山連ナリ其中間
ノ谷川是ヲ中藤川ト云此川ニ添ヒ或ハ谷間或ハ山腹ニ家居スル民戸總テ百三十二
按スルニ西ノ方山村ノ形勢ヲ見ニ各一條ノ谷川ニヨラサルハナシ北ニハ高麗川ニ

編戸セリ土性石交リ眞土或ハ黒土等ナリ陸田多ク水田ハ谷間ニ就テ少シクアリ寛文八年深谷喜右衛門檢地シテ貢稅ヲ定ム正保ノ頃ハ御領所ナリシカ延享三年田安殿領知トナリ今モカハラス上ニ云ヘル如ク上下赤工村ハモト一村ナリシ故ニ民戸ハ上下區別ストイヘトモ陸田ハ上下ノ分駁雜セリ

高札場村ノ東邊 小名 三辻 新屋敷 渡シ場

入間川村ノ南西北ノ三方ヲ環流スルコト十五六町對岸ハ原市場村ナリ水路ハ 橋二ヶ所入間川コッタス原市場

東演寺瑞光山ト號ス臨濟宗郡内赤澤村金錫寺末本尊釋迦ヲ安ス開山玉室清公 地藏堂

下赤工村ハ郡ノ西ニアリ此村古ハ上村ト一村ナリ既ニ前ノ條ニ辨セリ江戸ヨリ十五里ノ行程四境東ハ平地ツ、キ小岩井村ニ隣リ西モ平地續ニテ上赤工村ニ及ヘリ

南ハ山ノ絶巔ヲ界トシテ原市場上直竹苧生ノ三村ニ接セリ北ハ入間川ヲ界トシテ對岸ハ原市場曲竹兩村ナリ東西十八丁ホト南北六丁許地形東西ハ平地續キニテ南

ニ山アリ北ハ入間川ヲ界トス民戸五十軒多クハ入間川ニ添テ住居セリ水田ハ僅ニシテ谷水ヲ引テ耕作ス陸田モ少シトイヘトモ水田ヨリハ多シ土性檢地上ノ村ト相

同シ地形モ亦同シク山間ノ村ナリ古ハ御料所ナリシカ延享三年田安殿領知トナリシヨリ今モ替ラス

小名 赤工 尾永

入間川村ノ西ノ方上赤工原市場兩村ノ界ヨリ來リ東流シテ曲竹村ト小 雨乞場村ノ南ノ山上ニアリ今ハ塚モナク唯塚ノシルシニ 神明八幡合殿一社 神明ハ國常立尊ヲ祭リ八幡ハ小童命ヲ 子ノ神社持前 常泉庵曹洞宗同郡原市場村西光寺 正藏院福永山ト號ス本山修驗郡 十王堂正藏院

上直竹村

上直竹村ハ郡ノ西南隅ニアリテ南ノ方ハ多磨ノ郡界ナリ加治領ニ屬ス江戸ヨリ十五里ノ行程ナリ四境東ハ谷間平地ツ、キニテ下直竹村ニ隣リ西ハ秩父ノ巨嶺ニツ

新編正統風土記卷之二
石原郡卷之二

富士山之圖



ラナリ連山遶繞シ山界ニテ赤澤村ニ接シ
南モ同シク山ノ頂ヲ界トシテ多磨郡上成
木村ニ及ヒテ即チ郡界ナリ北モマタ連山
アリテ峰ヲ境トシ原市場上下赤工苅生ノ
四村ニ接續シ唐竹村モ峰界ニテ少シクカ
、レリ東西一里ニアマリ南北ハ一里ニタ
ラス峽間ノ村ニテ直竹川ノ流ニ添テ民家
八十一軒所々ニ編戸セリ土性小石交リ眞
土ナリ陸田ハ多ク水田ハ谷水ニ就テ少ハ
カリアリ正保ノ頃ハ御料所ニテ今ハ川崎
平右衛門支配セリ寛文八年雨宮勘兵衛檢
地シテ貢稅ヲ定ム

高札場二ヶ所一ハ村ノ東ニアリ
小名 細田 黒差 間野 宮脇 川崎

石原灰燐之圖



御林山 村内ノ字セリノ入山ニアリ段割
木等アリ
直竹川 村ノ西ノ方ヨリ湧出シ村内ヲ東
二間 許
淺間社 上下直竹村ノ鎮守ナリ例祭六月
富士山 山麓ニ淺間社アリ其西ニ瀧アリ
地ナリ 飛流ニ三丈許盤岩絶壁最モ勝槩ノ
ハ間野ニ跨リ北ハ川崎ニ跨リ東ハ宮脇
豆三國ニ跨ルニ是ヲカノ富嶽ノ駿河甲斐伊
ツケリ中隔ニ姫ケ嶽アリ是ヨリシテ上
ハ女人ヲ禁ス土人傳ヘニ往古姫化シテ
石トナルト云絶頂ニ小社アリコレヲ奥
ノ院トス土人モ夏月ニアラサレハ登ラ
ズ登ルコト八九町松楡及ヒ
雜木生茂リ坂路曲徑最嶮シ
山神社 光全寺
愛宕社 同寺持例祭年々六
同社 觀音寺
妙見社 南仙寺

新編正統風土記卷之二
石原郡卷之二

稻荷社 村民持
明神社 同
同社 村持
山神社 同

光全寺 藥王山ト號ス曹洞宗下直竹村長光寺末本尊藥師

觀音寺 稻荷山地藏院ト號ス新義眞言宗多磨郡 地藏堂
南仙寺 富士山富土坊東光院ト號ス本山修驗ニテ

大仙寺 寬宥山正覺院ト號ス

虚空藏堂 村民持

藥師堂 村持

地藏堂

石灰 里正伴次郎村民庄次郎二人ノ者石灰ヲ製ス是ハ世ニ謂ユル八王子石灰ノ根
城没落ノ後當村ニ引籠リ始テ石灰ヲ制セシカ慶長年中江戸御城御造營ノ時石灰
御用ヲ務シヨリコノカタ今モ替ラス此石灰ヲ制スルモノ十二人ノ椽トナリテ其
七人ハ多磨郡成木村ニアチコノ村ニアリ

下直竹村



下直竹村ハ郡ノ南界ニシテ西ニ寄りテア
リ加治領ニ屬ス江戸ヨリ十五里ノ行程ナ
リ四境東ハ谷間ノ平地ツ、キ上畑村ニ隣
リ西モ亦谷間平地ツ、キニテ上直竹村ニ
接シ南ニ連山アリテ峰ヲ塚トシ多磨郡上
下成木村ニ及ヒテ即チ郡界ナリ北モ元ヨ
リ連山アリテ峰ヲ界トシテ菊生村ニ續ケ
リ東西十二町ニアマリ南北ハ二町ニ足ラ
スシテ皆山ナリソノ中間チ西ヨリ東へ直
竹川ノ流アルニ添テ民戸六十三所々ニ居
住ス地形ノオホムチハ上村ニ相同シ土性
小石交リノ眞土黒野土等ナリ陸田多ク水
田少シ直竹川及ヒ谷間ヨリ出ル小流ヲ田
間ニ沃ケリ撿地モ上村ニ同シ正保ノ頃ハ
御料所ナリシカ延享四年一橋殿領知トナ

リシヨリ今モ替ラス

高札場村ノ東

小名 山ノ神 ガウド 森久保 森久保下 吾妻 前ノ入 梅ノ木澤 猿淵

三ツ棟 植田ケ谷 中倉出口 ヨシノ入 森ノ下 橋本 橋場 堂山

直竹川村ノ西上直竹村ヨリ來リ當村ノ間ヲ東流シ上畑村ト成木村

吾妻社村民持

長光寺鳳林山ト號ス曹洞宗郡中飯能村能仁寺末慶安二年十五石ノ御朱印ヲ賜フ

正月十六日化ス中興傳法開山格翁方逸弘治二年八月廿三日寂ス開基岡部小右衛門忠正法號即照院忠安永澄没年ハ弘治年中ナリト云傳フルノ此忠正ハ郡中小

瀬戸村ニ土着シ慶安ノ頃東都ニ召レシト今ノ岡部外記カ先祖ナリ岡部氏代々ノ墓アリシカ何ノ頃カ杉並ノ天慶寺ヘ移セシト云ナチ小瀬戸村ノ條併セ見ルヘシ

惣門 山門 鐘樓門 本堂 庫裡 衆寮

長光寺鐘銘

民部卿法印道春撰

武州高麗郡直竹村鳳林山長光寺者曹洞下沙門峨山之徒東海所
初建也爲一邦之名籃然風霜既古堂宇朽敗檀越小野姓岡部氏忠
正者六彌太忠澄之後也世在士林而敬三寶常與其配土屋氏共歎

此寺傾側爲薦考妣冥福遂改造練竿以長老良積爲住持而招衆緇
讀法華妙典一萬部又鑄蒲牢以警衆聽其志可嘉尙焉忠正自少事
幕下漸逮三葉功勞既顯而今興此盛舉則芳聲益振可謂有患有孝
不亦善乎鐘成架之于樓請余求銘銘曰

武州名區 洞山禪派 鳳林可秀 長光所在

新堂忽成 衆廢皆改 五位開筵 九乳脫韃

豐嶺霜餘 長樂花外 傳遐邇風 聞上下界

願力不休 夙夜勿懈

寬永十五年月日

岡部小右衛門尉忠正妻土屋氏

德藏寺圓林山ト號スコレモ曹洞宗ニテ前ニ載ル長光寺末本

荇生村

荇生村ハ郡ノ西ニシテ南寄ニアリ加治領ニ屬ス村名ノ起リ詳ナラス江戸ヨリ十五
里ノ行程ナリ四境東ハ谷間ツ、キ上畑村ニ隣リ西南北ハ皆山ヲメクラシテ唯一區
ノ山村谷間ニアリ地形ノ槩ナイハ、西ハ山ノ頂ヲ界トシテ下赤工村ニ續キ南モ峰

新編武蔵風土記稿 高尾郡卷二

界ニテ下直竹村ニ接シ北モ亦山界ニテ小岩井村ニ及ヒ大河原村モ少シク係レリ東
西廿八町南北二町地形東西へ長ク村間ヲ西ヨリ東へ流ル苧生川ニ添テ民家三十二
往々ニ散在ス土性ハ小石交リノ眞土ナリ陸田ハ山ニ據テ多ク水田ハ谷ニ就テ少ク
谷間ヨリ出ル水ヲ以テ用水トス寛文八年雨宮勘兵衛檢地ヲタ、セリ正保ノ頃ハ御
領所ナリシカ寶曆中清水殿領知トナリ今ハ又御料所トナレリ御代官川崎平右衛門
支配セリ

高札場 村ノ中程ヨリ少

小名 門谷 榎坂 桑寺 中内手

苧生川 村ノ西方ヨリ涌出シ村間ヲ東流

長尾峠 村ノ西方下赤工村ヘイタルノ峠

赤根峠 村ノ北方ニアリ行路大抵前ノ峠ニヒトシ

神明社 鎮守ナリ村民持

山神社 鎮守ナリ村民持

長昌寺 藥王山ト號ス曹洞宗郡中下直竹村長光寺末ナリ本尊地藏ハ木ノ坐像八寸二分コレ
モ同シ作ナリ當寺開山ハ長光寺中興五
世寶室存珠正保元年五月三日ニ寂ス

小岩井村

小岩井村ハ郡ノ中央ヨリ西南ニアリ加治領ニ屬ス江戸ヨリ十四里ノ行程ナリ四境
東ハ大河原村ニツ、キ西ハ下赤工村ニ隣リ南ハ山ノ絶巔ヲ界トシテ苧生村ニ接シ
北ハ入間川ヲ界トシテ對岸ハ小瀬戸久須美永田ノ三村ナリ東西二十町ホト南北ハ
僅ニ五町ハカリ地形入間川ノ南岸ニアリテ東西ノ二方ハ平地ニテ隣村ヘツ、キ南
ニ連山ヲマトヒ北ニ入間川アリ家數七十六所々ニ散在ス土性小石交リノ眞土ナリ
白田多ク水田少シ用水ハ村内谷々ヨリ涌出ス皆コノ利ニ依レリ寛文八年深谷喜右
衛門檢地セリ正保ノ頃ハ御料所ナリシカ享保十七年黒田豊前守直邦領知ニ賜ハリ
今モ其子孫豊前守カ領分ナリ

高札場 村ノ中程

小名 小岩井 釜ノ入 谷 日貫 下火

入間川 村ノ北岸ヲ流ル西ノ方下赤工久須美兩村ノ界ヨリ來リ當村ノ北ノ方ヲ流

橋四ヶ所 皆入間川ニ架シテ近隣村里往來ノタメニス共ニ

山王社 大光院

新編武蔵風土記稿 高尾郡卷二

天神社 持前ニテナシ例祭二月廿五日ニテ小名下火ノ鎮守

白髭社 日貫ノ鎮守九月廿九日

神明社 日釜入ノ鎮守九月廿九日

長泉寺 虎溪山ト號ス曹洞宗郡中飯能村能仁寺末本尊釋迦ヲ安メ開山ハ能仁寺五世吉州伊藤元和二年九月二十六日寂ス

無量寺 福壽山ト號ス新義真言宗郡中荒秀村東明寺末開山秀元寛永十七年ノ草創ナリ正保二年七月朔日示寂セリ

寶泉寺 龍谷山ト號ス曹洞宗直竹村長光寺末本尊地藏ノ開山ハ寶室尊珠正保元年正月三日寂セリ

大光院 梅林山ト號ス本山修驗郡中篠井村觀音堂配下ナリ本尊不動ヲ安メ慶安二年堂領五石ノ御朱印

藥師堂 慶安二年堂領五石ノ御朱印

曲竹村

曲竹村ハ郡ノ中央ヨリ西南ニアリ郷庄ノ唱ナシ江戸ヨリ十三里餘ノ行程ナリヨノ村ノ東端ニテ入間川ハ村ノ南ヨリ來リ中藤川ハ村ノ北ヨリ來リ二流相合シテ一帯ノ流トナリ東シテ久須美村ニ注クソノ地形ヲ槩スルニ恰モ圭田ノ如ニシテ東端ハ自ラ尖リテ狭少ナリ西ノ方ハ原市場村中藤村ニツ、キ南ノ方ハ入間川ヲ界トシテ對岸ハ下赤工小岩井ノ兩村ナリ北方ハ中藤川ヲ界トシテ對岸ハ中藤小瀬戸ノ兩村ナリ東西二町許南北ハ二町ニ足ラス民家十三軒所々ニ散住ス土性小石交リノ眞土

黒野土等ナリ陸田多ク水田少シ用水ハ村内谷間ヨリ出ル小流ヲ沃ケリ寛文八年深

谷喜右衛門檢地セリ正保ノ頃ハ御料所ナリシカ延享三年田安殿領地トナリテ今モ

替ラス

高札場 村ノ東ヨリ

小名 小住 山崎

入間川 流ル村ノ南岸ヲ流ル西ノ方下赤工原市場兩村界ヨリ來リ村ノ南ノ方テ

中藤川 村ノ北端ヲ流ル西ノ方中藤村ヨリ來リ北ノ方ヲ流ル

橋一ヶ所 入間川ニ便リス長五間幅三尺

雷電社 明泉寺持

明泉寺 竹林山ト號ス曹洞宗郡中原市場村西光寺末ナリ本尊彌陀ヲ安セリ

新編武藏風土記稿卷之一百七十八
高麗郡之三

岩間村
大石川村
大石川村
大石川村
大石川村
大石川村
大石川村
大石川村
大石川村
大石川村

新編武藏風土記稿卷之一百七十八

高麗郡之三

小瀬戸村

小瀬戸村ハ郡ノ中程ニテ西ニヨレリ加治領ニ屬ス江戸ヨリ十四里ノ行程ナリ四境東ハ久須美村ニ隣リ西ハ中藤村ニ續キ南ハ入間川ヲ界トシテ向ロハ曲竹小岩井ノ兩村ニ對セリ北ハ連山ノ峰ヲ界トシテ白子村ニ隣リ東西十七町南北十町許地形東西ハ平地ニテ隣村ニツキ是ヲ要スルニ南ニ入間川アリ北ハ山々重レハ山ニ依リ川ニ添フテ民戸三十九往々散在ヌ土性ハ小石交リノ眞土野土等ナリ陸田ハ多ク水田ハ少シ用水ハ村内谷間ヨリ湧出スルヲ沃ケリ正保ノ頃ハ御料所ナリシカ寶曆中清水殿領地トナリ今ハ又御料所トナリ御代官川崎平右衛門支配セリ寛文八年深谷喜右衛門檢地シテ貢稅テ定ム

高札場

小名 野口 新寺 久留生

入間川 村ノ西南曲竹村ト小岩井村トノ界ヨリ來リ當村南岸ヲ流ルハコト十町許
中藤川 村ノ西中藤村ヨリ來リ當村ノ南岸ヲ流テ七町許

新編武藏風土記稿卷之一百七十八

橋入間川ニ架スル板橋ナリ
 長サ凡六間ニ幅三尺ナリ
 淺間社 村ノ北山ノ中腹ニアリ村ノ鎮守ナリ
 藥淨院 醫王山ト號ス新義眞言宗ニテ郡中新堀村聖天院ノ末ナリ
 屋敷跡 一段三畝往昔岡部六彌太忠澄後胤岡部小右衛門此所ニ土着セシカ大猷院
 一合ナリ外ニ白田十石二斗六升一合ト山林ニケルモ今ニ至ルマテ皆岡部氏ノ抱地
 トナリテ屋敷跡ニハ其家臣町田市右衛門ト云ルモノヲ置ケリ郡中赤澤村ノ里正
 彌五郎岡部ヲ氏トス 彌陀堂 屋敷跡ノ東ノ方ニテ 觀音堂 前ニ同シ觀音木ノ坐像
 即チ同家ナリト云 彌陀堂 屋敷跡ノ東ノ方ニテ 觀音堂 前ニ同シ觀音木ノ坐像
 菩薩ノ作ナリト云此像ノ腹籠リニ長八寸許ノ秘佛アリ是ハ忠澄ノ守本尊ニシテ
 常ニ甲ノ内ニ籠置シト云屋上ニ古キ棟札アリ表ハ埃墨ニ染ミテ文字見エカクシ
 ツノ裡ニ書スルハ馬一疋舎人牛一疋飼口干時慶長
 十二年未霜月吉日施主岡部外記大木工頭トアリ

大河原村

大河原村ハ郡ノ中央ヨリ西南ニヨレリ加治領ニ屬ス土人相傳フ此村ヲ往古ハ軍茶
 ケ根村ト唱ヘシト云按スルニ當村ノ鎮守軍茶利ヲ祭ルカ故ニ唱ヘシナランカ江戸
 ヨリ十四里ノ行程ナリ四境東ヨリ巽ヘ廻リ矢下風村ニ隣リ西ヨリ乾ニカケテハ小
 岩井村ニ續キ南ハ山アリテ其頂ヲ界トシ苜生上畑下畑ノ三村ニ接ス北ハ入間川チ
 界トシテ對岸ハ永田飯能ノ兩村ナリ地形入間川ノ南岸ニアリテ東西ノ二方ハ平地
 ニテ隣村ニ續キ南ニ連山アリ北ニ入間川チ控テ界トセリ東西廿五町南北五町民家

五十八土性ハ小石交リノ眞土ナリ陸田多ク水田少シ用水ハ村内谷間ヨリ沃ケリ寬
 文八年深谷喜右衛門檢地チ糺セリト云正保ノ頃ハ御料所ナリシカ延享四年一橋殿
 領地トナリテヨリ今モ替ラス

高札場

村ノ中程 小名 殿屋敷 中内出 別所平 小山平

入間川 村ノ西小岩井永田兩村ノ界ヨリ來リ東ノ方飯能矢下風二村ノ界ニ達

橋 入間川ニ架ス長五間幅三尺當村

鐵淵 入間川ノ南岸ニアリ水側七尺許相傳フ往

軍茶利社 村中ノ鎮守ナリ例祭九

金藏寺 金軸山ト號ス新義眞言宗新堀村

長壽五兵衛 農氏佐兵衛カ父ナリ文政辛巳ニ值リ享年九十六ナリ是ヨリ先

舊家忠兵衛 大河原ヲ氏トス分家五軒及ヒ飯能村ニモ同氏ノモノアリ然レトモ家

イヘル所アリ土人ノ傳ヘニ往古大河原某ノ居住セシ所ナリト今ハ田畝トナレリ

上畑村

上畑村ハ郡ノ西南隅ニアリ加治領ニ屬ス江戸ヨリ十四里ノ行程ナリ四境東ハ下畑

村ニ隣リ西ハ下直竹村ニテ坤ニメクリ又直竹川ヲ界トシテ對岸ハ多磨郡下成木村ナリ乾ノ方ハ苧生村ナリ南ハ成木川ヲ界トシテ對岸ハ多磨郡下成木富岡ノ兩村ナリ北ニハ山アリテ綱巖ヲ界トシ大河原村ニ接ス地形東ハ平地續キ西南ニ川アリ北ニ連山アリテ成木川北岸ノ村ナリ東西八町許南北モ亦シカリ民家廿四山ヲ負ヒ川ニソヒ所々ニ散住ス土性小石交リノ眞土黒野土等ナリ陸田衆ク水田ハ少シ用水ハ直竹川ヲ堰入テ沃ケリ寛文八年雨宮勘兵衛檢地シテ貢稅ヲ定ム正保ノ頃ハ御料所ナリシカ延享四年一橋殿領知トナリテヨリ今モ替ラス村名ニ因テ按ルニ新田義貞ノ從士畑六郎左衛門時能ハ武藏國ノ住人ナルヨシ太平記ニ見エタリ時能及ヒソノ子六郎能速等若クハコノ村ニ住シテ在名ヲ稱セシニヤ然ラハソノ舊跡或ハ後裔ノモノナトアラシカト土人ニ尋ヌルニコレヲノコトノ傳ヘハナシト云

高札場村ノ中程ニアリ

小名 西畑 中畑 中ノ堂

直竹川村ノ坤ノ方直竹村ヨリ來リ當村ノ西ノ方テ流ルハコト二町許ニシテ村ノ中程ニテ成木川ニイレリ川幅ハテヨソ五間ハカリ

成木川村ノ南境テ流ル西ノ方多磨郡下成木村ヨリ來リ村ノ南ノ方テ流ルハコト四町許ニシテ下畑村ト多磨郡富岡村ノ界ニ達セリ川幅ハ凡十間許リ

橋一ヶ所直竹川ニ架ス小橋ナリ

寶光寺東久山ト號ス新義真言宗ニテ新堀村聖天院ノ末本尊不動 地藏堂

下畑村

下畑村ハ郡ノ西南隅ニアリ加治領ニ屬ス江戸ヨリ十四里ノ行程ナリ東ヨリ南ノ方ヘ成木川メクリテ東ノ對岸ハ郡中岩淵村ナリ南ノ對岸ハ多磨郡富岡村ナリ西ノ方ハ上畑村ニ隣リ北ノ方ハ山アリテソノ巔ヲ界トシテ大河原村ニ接ス東西凡十五町南北九町許地形東ヨリ南ニ成木川環流シ西ノ方ハ平坦ニテ隣村ニツ、キ北ノ方ニハ山ヲ負ヒテソノ山足或ハ川ニ隨ヒ居住セル民家四十五軒アリ土性ハ上ノ村ニ同シク水田ハ陸田ニ比スレハ三分ノ一ナリ成木川ヲ堰入レテ水田ニ沃ケリ寛文八年雨宮勘兵衛檢地シテ貢稅ヲ定ム正保ノ頃ハ御料所ナリシカ延享四年田安殿領知トナリテ今モ替ラス

高札場村ノ中程ニアリ

小名 宮倉 保入 渡戸

成木川村ノ南岸ニアリ西ノ方上畑村ト多磨郡富岡村界ヨリ來リ東ノ方岩淵村ニ達ス村ノ南ノ方テ流ルハコトテヨソ十七町川幅ハ十間ハカリ

橋三ヶ所成木川ニ架ス皆土橋ナリ一ハ長五間幅四尺一ハ長八間幅三尺岩淵村ト當村ニテ造レリ

八幡社下畑村ノ鎮守ナリ例祭三月十五日金蓮寺ノ村

金蓮寺 八幡山ト號ス時宗ニテ相州鎌倉郡當麻村無量光寺末ナリ本尊彌陀ハ木ノ
立像ニテ長二尺七寸惠心ノ作ナリト云慶安二年寺領七石ノ御朱印ヲ賜フ
開山眞教文保二年正月廿七日寂ス關基宮倉三郎兵衛法名實宗重阿
居士文和元年八月十六日没スコノ人ハ今ノ里正和助カ先祖ナリト
遍住院 實入山ト號ス新義眞言宗多磨郡下成木村安樂寺末ナリ本尊彌陀ヲ安ス中
興開山眞也延寶四年三月廿六日寂ス慶安二年寺領六石ノ御朱印ヲ賜ヘリ
長壽者 農民清吉カ祖母文政辛巳ニ值リ年九十
五田安殿ヨリ歳中ニ米一石八斗ヲ賜フ

久須美村

久須美村ハ郡ノ西南ニアリ郷庄ノ唱ナシ東ハ平地ツ、キニテ永田村ニ隣リ西モ平
夷ニシテ小瀬戸村ニ接ス南ハ入間川ヲ界トシテ對岸ハ小岩井村ナリ北ニ山アリテ
ソノ峰ヲ界トシテ白子村ニ及フ又横手村ニモ係レリ地形東西ハ平坦ニシテ南ニ入
間川ノ流アリ北ハ嵯峨タル重山アリ東西五丁許南北ハ廣狹アリテ或ハ二三町或ハ
四五町ノ所モアリ民家多クハ山足ニ據テ住スル戸數スヘテ廿六江戸ヨリ十四里ノ
行程ナリ土性ハ小石交リノ眞土ナリ陸田多ク水田少シ用水ハ谷間ヨリ出ル小流ヲ
灌ケリ寛文八年深谷喜右衛門檢地ヲ糺スト云正保ノ頃ハ御料所ナリシカ延享三年
田安殿領地トナリ今ニ替ラス
高札場ニアリ
小名 丸ヶ谷戸 宮ノ前 鍛冶谷方

入間川 村ノ西ノ方小瀬戸村ト小岩井村ノ界ヨリ來リ東ノ方永田村ト小岩井
村トノ界ニ達ス村ノ南ノ方ヲ流ルハコト五町許川幅凡十間ハカリ
橋一ヶ所 小岩井村ト當村ニテ造レリ
白鬚社 三尺ハカリ丙丁ノ祭九月廿九日東光寺持頭ニ神木ト稱スル杉アリ圍三丈
東光寺 瑞雲山ト號ス曹洞宗郡中下直竹村長光寺末ナリ本尊藥師ヲ
舊家辰五郎 宮寺ヲ氏トス先祖宮寺與七郎ハ北條陸奥守氏照ニ仕ヘカ正十八
鑑及七黨系圖野與黨ニヨリテ按ルニ村山七郎頼直兄弟四人アリ同郡宮寺ノ郷ニ
夫家綱入間郡大井郷ニ因テ名乗ルニユ弟宮寺五郎家平コレモ同郡宮寺ノ郷ニ
子ノ一跡北條氏ヨリ賜リシモトヨリ同族ノ由アル故トミハコノ祖先與七郎ヘ金
ノ餘武器等所持 具足一領 緋威桶輪胴減金銀 鐵鏡一口 鞍二掛
セリ左ノ如シ 打蓋頭形銀ナシ 刀一腰 助
ハ梨子地塗ニテ海アリ丸ノ内一 鎗一本 身長六寸鎌 一ハ黒塗無地
ツ雁金具紋付居木ニ練鞍トアリ

書出

- 一所四貫文 原
- 一所貳貫五百文 松井田
- 一所貳貫文 葛見
- 以上

右如前々可知行候猶走廻之上可加扶助者也仍如件

永祿五年五月十九日

官寺與七郎

書立

一金子掃部助

一跡

右後一跡被進置候御移之上直之御判形相調可進候依御忠節猶可爲御望次第

者也仍如件

西七月三日

官寺與七郎

古へ音に聞今日宇治川先陣希代之處也爲褒美生數寄増之馬送宛處也彌可抽

軍患者也恐々謹言

元龜四年七月十六日

信長印

梶川彌三郎

此織田家ノ感狀ハ何人ヨリ讓リ受タルヤ

入間 永田村

永田村ハ郡ノ西南ニアリ加治郷加治庄加治領ニ屬スモトハ永田ト書セシカ何ノ頃
カ永字ニ書換シト云正保ノ國圖及田園簿ニモ長ノ字ニ作レリ寛文八年ノ水帳ニモ
長田村トアリ今ハ專ラ永ノ字ヲ用ユルコト、ナレリ江戸ヨリ十四里ノ行程ナリ四
比東ハ飯能村ニツ、キ西ハ久須美村ニ接シ南ハ入間川ヲ界トシ對岸ハ小岩井大河
原ノ二村ナリ北ニ山アリテ絶巔ヲ界トシ横手飯能兩村ニ及ヘリ地形東西ハ平地ツ
、キニテ隣村ニ及ヒ南ハ入間川ヲ界トシテ北ニハ山アリ東西十一町餘南北十町ハ
カリ民家五十多クハ山足ニ據テ散在ス土性石交リノ眞土ナリ陸田多ク水田ハ少シ
用水ハ村內谷間ヨリ出ル小流ヲ沃ケリ寛文八年深谷喜右衛門檢地シテ貢稅ヲ定ム
正保ノ頃ハ御料所ナリシカ享保十七年黒田豐前守直邦ニ賜ハリ今其子孫豐前守直
侯ノ領スル所ナリ

高札場 村ノ中程ヨリ少

小名 西ヶ谷戸 中丸

入間川 西ノ方久須美小岩井ノ兩村ノ境ヨリ東流シテ飯能大河原
橋一ヶ所 入間川ニ架ス當村及ヒ小岩井村
白髭社 村中ノ鎮守ナリ例祭九月

萬福寺 大黒山ト號ス新義真言宗江戶護持院末ナリ慶安二年觀音堂領三石ノ御朱
印ヲ賜フ本尊觀音木ノ立像ニテ長三尺二寸行基ノ作ナリト云中興開山澄
意天正年中示寂スト云寶永四年鐘ノ銘ニ曰天文十一壬寅冬千木氏貞公起信再營
而復古矣トアリコノ寺天正ノ頃ハ澄意ノ代ニテ紀州根來山清淨金剛院ノ末寺ナ
リシニ程ナク根來兵亂ニヨリテ一山頓廢ニ及ビシユヘン
後元祿十年隆益カ代ニイタリテ護持院ノ末寺トナレリト云 藥師堂

飯能村

飯能村ハ郡ノ中央ヨリ南ノ方ニアタリ入間川ノ岸ナリ土人ノ傳ヘニ此地往昔正親
町ノ大納言住居セシト青木村青木某ノ家系ニ載スル正親町大納言實澄左遷セラレ
東國中山ニ住居ストアルヲ見レハ此邊モ中山ト云シニヤ又村ノ西ナル入間川ニ正
親町息ノ女勝姫ヲ沈メシト云淵アリ頃ハ正治元年八月實朝將軍ト武藏野ニテ會戰
シ丹家亡セシ時ノコトナリト左アレハ正親町モ此邊ニ居住セシコト思ハル今又如
ク飯能ト稱スルモノハイツノ頃ヨリノ唱ナリヤ詳ナラス按スルニ日本史頼家ノ傳
ニ正治元年頼家伺安達景盛之亡奪妾及返有人讒頼家使誅景盛之事アリ是ニ依ルト
キハ疑ラクハ此實朝ト云ハ頼家ノ誤ナルヘシサレト勝姫ノ事蹟トカク疑ナキニ
ラス又正親町ノ系譜ニヨレハ實澄ハ永正四年六月出家ストアリ永正ハ正治ヨリ後
ル、コト三百餘年土人ノ一說誤ルコト知ヌヘシ姑ク茲ニノセテ弁疑ヲ示ヌ江戸ヨ
リ十三里ノ行程ナリ加治郷加治庄加治領ニ屬ス四境東ヨリ北ヘハ眞能寺中山ニ村



隣リ西ヨリ北ヘハ入間川ヲ控テ界トシ大
河原村ニ對セリソノ餘永田横手臺三村ノ
山谷ニ犬牙セリ南ハ久下分村ニ接シテ往
還ヲ界トスコ、ハ川越城下ヨリ秩父へ通
フ道ナリ又一條ハ南ノ方八王子邊ヨリ秩
父へ通フノ道ナリ共ニ道幅二間許コ、ニ
ハ民家軒ヲ並ヘテ住シ市立アル所ハ東西
へ三町許ソノ道幅モ七間餘アリ戸數スヘ
テ百三十六陸田多ク水田少シ西北ニハ山
々連ナリ又秩野アリテ中山眞能寺ノ二村
入會ナリ土性眞土或野土ニテ地形高低ア
リ前々ヨリ毎月六ノ日十ノ日市ヲ立テリ
ソノ始ハ山アヒノ村民繩筵ヲ第一トシテ
賣買シ或炭薪ヲ出セシカ今ハ青梅縞絹太
織米穀等ニ至ルマテヲ交易ス正保ノ頃ハ



能仁寺
境内之

入間川 村ノ西永田村ヨリ來リ久下分村
 福十六間餘平 係ルコト十餘町川
 水十間ハカリ 出ツ水路六七町ニシテ入
 岩ノ澤川 村ノ西多峯山前岩邊ノ谷間
 間川ニソノ川幅 二三四間ハトナリ
 ハ二三間ホトナリ 西岸ニシテ勝姫テ沈メシ
 鉄淵入間川ノ西岸ニシテ勝姫テ沈メシ
 鉄淵ナリト云此説スヘテ前ニ弁スシ
 屋敷跡 村ノ東南大泉寺境内ノ邊ニシテ
 アト今ニ存セリ 町大納言居住セシ所ナリ
 諏訪明神社 祭神健甕名方命ニテ合殿ニ
 唯棟札二札ノ寫アルノミ其文ニ曰大檀
 那加治菊房丸助願檀那平重清同菊房丸
 祖母昌忠永正三丙子初春十一日又其
 一ニ曰諏訪宮再興之事本願智觀寺住僧
 法印慶賢大檀那加治勘解由左衛門吉範
 當所諸檀那代官小室三右衛門成就坊子
 時天正十二年七月吉日トアリ成就坊ハ
 今ノ別當大泉寺ナリ此寺享保九年回祿
 ノ災ニ罹リシ時棟札モ亦灰塵ニ委ス仍
 テ今寫シテ存ス社地ハ僅ノ除地ナリ
 劍祭ハ七月廿七日
 神明社 神職小能志摩吉
 田家ノ配下ナリ

七



御料所ニテ高室喜三郎支配セリ檢地ハ寛
 文八年深谷喜右衛門改テ租米ノ數ヲ定ム
 其後寶永四年黒田豊前守隄邦カ領地トナ
 リ今モ替ラスコノ餘領主ノ林及ヒ能仁寺
 觀音等ノ寺領アリ
 高札場 村ノ南市立ル所
 小名 上 中 下 龍ノ上 早戸澤
 松井戸
 多峰主山 村ノ乾ニアタリ飯能ノ宿テ距
 地ヨリ漸登ル路チ夾テ松樹行テナス山
 中スヘテ能仁寺アリ山頂ニ黒田豊前守直
 邦ノ墓碑アリソノ右ノ傍ニ太宰純カ撰
 シ且書スル所ノ碑アリ又墓地ヲ盤ルコ
 ト西南百歩餘ニ値リ前岩ト稱スル盤岩
 アリ是ヲ要スルニ山中スヘテ勝姫オホ
 シ此岩上ナカシツク眺望イトヨシ東西
 南北渾テ一點ノ遮ルモノナシ遠近皆山
 アリテ連山恰モ波濤ノ如ク唯西南間ニ
 突兀トシテ富士山ナル

多峰山之主



同社持村
山王社同上
稻荷社同上
三社權現社同上
愛宕社寺小能志摩觀音
同二社共
聖天社下ニ職小能志摩吉田家ノ配
能仁寺武陽山ト號ス曹洞宗ニテ弘治
三年丁巳三月晦日寂ス謝基ハ即チ今ノ
檀那黒田豐前守ノ先祖丹治山中勘解由
左衛門尉直勝一ニ家勝ニ作ル法諭ハ能
仁寺殿大年全椿大居士ト稱ス天正元癸
酉七月初五日生ノ卒ス二格翁桂逸禪師ニ
至リ初テ越生ノ龍穩寺ニ屬ス三世材室
天良禪師四世格外玄逸禪師ニ至ルマテ
勅賜禪師號天正九年寺領五石ノ御
朱印ヲ賜フ元禄十年常憲院殿ノ御世ヨ
リ獨禮ノ命ヲ蒙リ同十三年社奉行及
永平天梁禪師ニ請テ叢林トナル此寺初
メ五石ノ御朱印ナリカ寶永二年改テ
十ノ字ヲ加ヘテ乘興ノ格トナル末寺廿
ル住僧モマタ乘興ノ格トナル末寺廿

寺アリ其餘ツマヒラカナルコトハ下ニ書セル寺記ニ見エタリ文中ニ此寺創建ノ
事實寺記ニハ家範府君ト記シ鐘銘ニハ家勝府君ト勤ス其交ノ異ナル所以ヲ尋ル
ナルヲモテ懿德ヲ其先考ニ推シ及ホス孝思ノ厚キユヘナリト云

武州能仁寺記

武陽山能仁寺者在武之高麗郡加治郷焉。我高祖考家範府君法名
宗無大居士之所創建。以爲其先考家勝府君法名全椿大居士祈冥
福者也。其本堂安置寶冠釋迦文佛。蓋示法身圓成之尊容也。影堂牌
堂衆寮山門等。又各嚴本尊。山頭勸請愛宕權現也。就中東山洞丹生
明神。並以爲境內之鎮護也。是丹治一族之祖神也。其他建伊勢春日
熊野白山菅神稻荷等之諸祠。而示尊崇之志也。天正十九年辛卯十
一月。大神君特賜封券。以稅入五十石之地。充寺之香火料。獨券文脫
十之字。止曰五石。而地之五十石者。依然現存。蓋時值草創。百務念遽。
史筆有所失誤。而寺僧亦無得而質之也。其後歷三朝。以迄今大君。悉
賜封券。而仍舊貫。所隸之寺院。凡三十有餘。其有封邑得官券者。七箇
寺。而其一則十五石。其一則十石。俱超本寺之封矣。本末輕重之不倫。
後爲住持者。頗能憂之。我先考直張府君及伯考直守府君。亦同憂之。

或謀諸國老諏訪參政。然皆時勢未到。不果其志。及不佞之世。會值今住持和尚之來。董席于方丈焉。先是寺在總禮之班。及元祿十年丁丑正月。始陞在獨禮之班。有司傳鈞旨曰。因直重奉公之勞。故殊恩及其祖先之寺。直重又請前天台座主公辦法親王。親灑妙墨于其山門本堂之額。蓋欲借輝天漢之餘派。以光賁吾寺也。同十三年庚辰秋。請有司及永平天梁禪師。定寺爲叢林。自此而後。每歲冬夏。置法侶數十口。而勤江湖制法禁戒。皆效古式。不循流弊。教導學生。無自他之偏頗。簞食瓢飲。無內外之差別。唯事學業。參悟。而不管他技遊樂也。般若智水。厚尋本原。金剛壇埵。長擺俗塵。是以願其會下者。遠近並跡。信從爭先。直重亦寄附兼金一百兩白粲一百俵。以爲齋供料矣。及至寶永二年乙酉。直重又請于官。實始獲改賜封券。以正其五十石之文。而寺之住持亦許乘輿之班。有司掌寺社者。本多彈正少弼藤原忠晴傳恩旨。於是先考伯考及歷世住持。所以憂其名實之不當。而本末之不倫者。一旦而得定矣。直重之幸。亦謂之何也。寺去御基之時。漸墮十紀。門堂殿廡。既就朽敗。住持和尚躬任修興之事。直重亦贊襄之。越明年正月。茲

擇令辰。鳩工匠運斧斤。以經營之。梁棟桷楹。悉以規造之。里民寄進諸材。且近鄉隣村衆民。亦希願就其役。日數百人。繼踵子來。或肩木石。或餉簞壺。輪奐之美。不日告成焉。乃知神佛慈惠之所致也。覺蒼峨峨乎新也。堂閣洞洞乎美也。遂以孟夏佛誕之日。落慶焉。而諸堂遷坐供養等之儀。悉成也。是亦一宗之美談。檀越之盛舉也。又聞此寺披壤以來。未嘗有回祿盜賊之難。曩時有大寺五郎兵衛者。強盜之魁首也。逮就囹圄者七。遂被戮死。彼語人云。加治能仁寺。可謂靈場也。我聞其香積之豐。屢生貪心。糾集兇棍。圍而覘之。每見其神兵衛護。森然不可犯者焉。念之不遂。遺憾尙在。又有小雀四郎兵衛者。嘗詣寺拜伏扣首。其狀若有所誓謝者。然密謂傍人云。我亦強賊七十五名之渠帥也。豈謂怯弱乎。每興惡念。欲襲此寺。或迷其方所。欲進却退。或昏臥在野。不識厥明。或鳥翼風聲。曳兵而走。是蓋神威佛力之所維持也。今而心折。不復敢來云云。今因住持和尚之請。具錄顛末。併及此事。以藏寺之寶庫。亦使吾子孫不敢忘吾祖先崇奉之志云爾。現住和尚諱廣基。武州人。爲寺之第十三世。寶永三年丙戌四月十五日。從四位下行豐前守丹治

真人直重謹記

東照宮御朱印之寫

寄進能仁寺

武藏國高麗郡加治郷之内

五石之事

右令寄附訖殊寺中可爲不入之狀如件

天正十九年辛卯十一月日

常憲院殿御朱印之寫

武藏國高麗郡加治郷之内五石事任天正以來代々先判之旨貞享二年六月十一日

雖宛行之今般依願檢地之上五拾石之高成下之訖并境内山林竹木諸役等免除能

仁寺令以納永不可有相違者也

寶永二年十二月廿七日

惣門

山門武陽山ノ三字ヲ扁ス通照金剛一品公辨親王書之元祿 本堂能仁寺ノ

スコレモ前天台座主一品公辨親王書元祿十年八月十六日 方丈 小方丈 庫裡

禪堂本尊出山釋迦木ノ立像ニテ長 江湖寮本尊阿 衆寮本尊楊 首座寮 靈座

黒田氏歴世ノ位牌アリ 鐘樓寶永年中鑄造

能仁寺鐘銘并序

武藏國加治郷武陽山能仁寺者吾曩祖丹治家勝府君法名全椿大居士之所創建也築室之始延招前萬年斧屋和尚使住于此是時此寺特莫有所屬然逮二世格翁移住越生龍穩而酬乳香於龍穩遂以龍穩爲本山以斧屋爲開山獨異于他山之例者乎天正十九年辛卯十一月東照大神宮寄土田而賜印章其後世々皆循舊券寺臘尚在總禮之班元祿十年丁丑正月第十三世廣基和尚住持之時陞進獨禮之班是因檀越直重等之懇情也元祿十三年庚辰又陞爲叢林也寶永二年乙酉再請官收賜五十石之封券且許乘輿也其始末詳于別記寶永三年戊戌修造殿宇奇麗致美然曷鐘漸舊發鏗不亮此是往歲吾同族東市正丹治信正之所舉也今歲寶永七年庚寅秋七月新鑄一口納其故於一堂存其先意也架其新於高樓貽諸後聽矣凡天地之間無物不有性又不無道與教矣夫鐘之爲物也所以鳴者其性也撞之者其道也其刻銘者教之辭也鐘既懸矣可撞而不可無銘

故叙述寺之緣由兼殷昌繫之以銘銘曰。

有鐘則撞 有鐘則鳴 所由三合 顯是緣生
刹旛風吹 亦不二名 去來自若 栢樹崢嶸
峰震谷響 無聲之聲 出感入寂 無情之情
樓中繞獸 山上吼鯨 曉雲星列 晴空雷轟
雙杵脫機 夜報深更 寸莛如律 長通高閣
六時布警 發省存誠 九乳備字 含華集英
豐山霜冷 竺嶺月清 既修梵閣 更掛銅鉦
獨步宇宙 通壘開首 鼓空洞腹 坦坦平平
脫却功德 始竟經營
寬永七年庚寅七月

從四位下行豐前守館城主丹治真人直重謹識

奉行 田原郷右衛門藤原勝宗

寺寶 伽羅木觀音 一軀 金襴ノ袈裟一顆 明板薄紙摺四書小本五册論語ニハ院殿御手ツカラアソハセシ朱點アリ以上ノ三品ハ十三世泰州カトキ賜ハリント云 丹生明神社 愛宕社 金毘羅社 秋

葉社 白山社

觀音寺 觀音堂 尺二寸五分弘法大師ノ作ナリト云 住吉諏訪菅神庖瘡神七ツ石

五坐合社 藥師堂 寺寶 瀧見觀音畫像一軸可翁ノ筆ナリト云 古色ニ見ユ

大泉寺 神光山ト號ス前寺ト同宗同 末ナリ本尊ハ不動ヲ安ス

西傳寺 青雲山ト號ス曹洞宗能仁寺關山武産本海能仁寺ノ九世ナ 云寛文二壬寅年三月十八日化ス本尊釋迦ヲ安セリ

釋迦堂村民持 舊家又右衛門氏ヲ大河原ト云先祖ハ大川原村ニ住セシヨシ其遷リ來ル年曆詳ナ 文左ノ

如シ 制札

右久下分之内從長瓦根由至り深澤山堅被立林候下草にても苅取者有之者野具 相押其身トハ擲取瀧山引來可遂披露旨被仰出者也仍狀如件

乙亥十一月十九日

天正三年ナルヘシ

奉長時

島村圖書助長

吉田滋

久下分村

久下分村ハ郡ノ中央東寄ニテ西南ニ入間川ヲ控タル地ナリ土地平坦トハイヘト川ニヨリタルアタリハ自ラ卑シ陸田ノミニテ水田ハナシ古ヨリ御料所ナリシカ寶永四年黒田豊前守領地トナリテヨリ今モ替ラス江戸ヨリ行程十三里ナリ加治郷加治庄加治領ニ屬ス民戸五十東西六十餘南北四町許東ハ川寺眞能寺ノ二村ニ隣リ西南ハ川ヲ隔テ、大河原矢下風ノ二村ニ及ヒ北ハ飯能村ニテ往還ヲ界トス西ノ方秩父ヨリ東ノ方川越城下ヘ通フ道ニテ當村ニカ、ルコト三町許ノ間ハ路幅七間餘南側ニ民家軒ヲ並ヘテ北側ハ飯能村ナリ又東眞能寺村界ヲ南ニ折テ青梅道アリコレハ道幅六七尺ナリ毎月六十ノ日飯能村ノ市即チ此村ニ及ホセリ委クハ飯能村ノ條ニノス檢地モ飯能村ト相同シ

高札場 飯能村ト相持ナリ

小名 入子 下

入間川 村ノ西飯能村ヨリ來リ西南ヲ回流シテ東ハ川寺村ニ注シ川幅十六間平水十間許

稻荷社 飯能村能仁寺持

稻荷社 村民持

伊豆明神社 前ニ同シ

本明院 大悲山ト號ス本山修驗郡中篠井村 觀音堂 正觀音本ノ坐像ヲ安ス長七寸

藥師堂 村民持

矢下風村

矢下風村ハ郡ノ中央ヨリ西南寄ニアリ此村正保ノ國圖及田園簿ニ見エス元祿ノ國圖ニハ載タリ何ノ頃カイツレノ村ヲ割テ一村トセシヤ按スルニ隣村前ケ貫村正保ノ村高ナ今ノ村高二比スレハ半ヲ減ス是ヲモテ考レハ恐クハ前ケ貫ヲ割テ矢下風一村トセシモノナルカ此村前ケ貫ト同シク加治郷加治庄加治領ニ屬ス江戸ヨリ十三里ノ行程ナリ四境巽ハ前ケ貫ニ續キ乾ハ大河原村ニ隣リ坤ハ山續キ頂ヲ界トシテ岩淵上畑ノ兩村ナリ艮ハ入間川ヲ界トシテ對岸ハ久下分川寺ノ兩村ナリ地形巽乾ノ二方ハ平地續キニテ坤ノ方ニハ山值リユノ山ヨリ西ハ山々連リテ秩父郡ニ接セリ東ノ方ハ頗ル打ヒラケタル地形ナリ艮ニアリテハ入間川アリ東西凡十六町南北十町許民家六十三多クハ山ニ添テ散在ス土性小石交リノ眞土ナリ陸田多ク水田少シ用水ニハ入間川ヲ堰入ル寛文八年雨宮勘兵衛檢地ヲタ、セリ正保ノ頃ハ御料所ナリシカ享保十七年黒田豊前守直邦ニ賜ハリ今其子孫豊前守直俵カ領分ナリ

高札場ニアリ

小名 前原 連加 秋津

入間川 村ノ乾大河原村ヨリ來リ東ノ方前ケ貫村ヘ至ル

橋二ヶ所 入間川ニ架ス一ハ川寺當村ノ兩村ニテ造レリ

堤一ヶ所 長十五間幅五尺一ハ長十間幅五尺皆土橋ナリ

山王社 本山修驗東

天王社 村民持

淨心寺 寂光山ト號ス禪宗曹洞宗郡中飯能村能仁寺未ナリ本尊彌陀ヲ安

大源寺 明王山ト號ス本山修驗郡中篠井村

前ケ貫村

前ケ貫村ハ郡ノ西南ニアリ加治郷加治庄加治領ニ屬スコノ村ノ異名ヲ鹽川ト唱フ

前ケ貫村ト唱フルヨリモ還テ能通用セリト云按スルニ村内ニ鹽川ト云ル寺アルカ

故ニヤ江戸ヨリ十三里ノ行程ナリコノ村東ハ入間川成木川ノ二流落合フ所ナリ落

合村ハ即チ川ノ南ニアリ西ハ矢下風村ニ續キ南ハ成木川ヲ界トシテ對岸ハ落合岩

淵ノ兩村ナリ北ハ入間川ヲ界トシテ對岸ハ久下分川寺ノ二村ナリ東西一町許南北

モ亦相等シ地形西ハ平地ニテ矢下風村ヘツ、キ南北ノ二流東ノ方ニテ落合テ村ノ

地サキ細ク尖レリ土性小石交リノ眞土ナリ水田ハ陸田ノ三ヶ一ナリ用水ハ成木川

ヲ堰入ル正保ノ頃ハ御料所ナリシカ享保十七年黒田豊前守直邦ニ賜ハリ今其子孫

豊前守直侯カ領分ナリ寛文八年兩宮勘兵衛檢地シテ貢稅ヲ定ムト云

高札場ニアリ

高札場ニアリ

小名 東方 西方

入間川 村ノ西矢下風村ヨリ來リ東ノ方落合村ニ達ス

成木川 村ノ西矢下風村ヨリ來リ東ノ方落合村ニ注ク

祖矢社 矢下風前ケ貫岩淵三村ノ

大運寺 大平山ト號ス曹洞宗郡中飯能村能仁寺未本尊釋迦

鹽川寺 寶林山ト號ス新義具言宗多磨郡

岩淵村

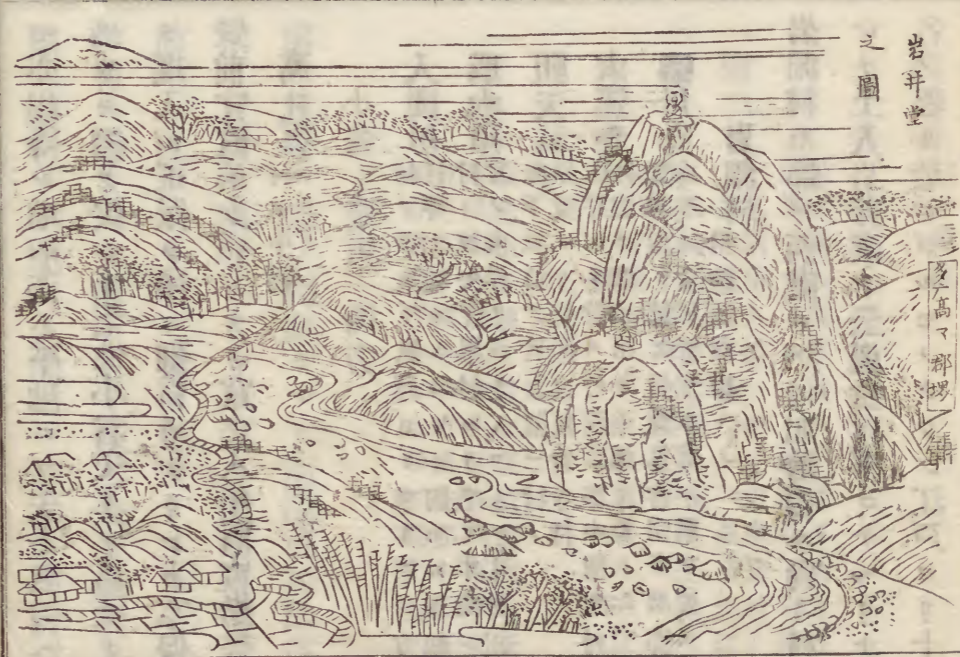
岩淵村ハ郡ノ西南ニアリ加治領ニ屬ス村ノ西成木川ノ南岸盤岩ノ中腹ニ堂アリコ

レナ土人岩井堂ト云巖堂ノヨコナマリナルヘシ盤岩高サ五六丈其下ニ深淵アリ村

名ノ起リ是ニヨルモノナラン江戸ヨリ十二里餘ノ行程ナリ四境東ハ落合村ニ隣リ

名ノ起リ是ニヨルモノナラン江戸ヨリ十二里餘ノ行程ナリ四境東ハ落合村ニ隣リ

岩井堂
之圖
高札場
高札場



西ハ成木川ヲ界トシテ對岸ハ下畑村ナリ
南ハ山續キニテ頂ヲ界トシ多磨郡今井村
ナリ坤ノ方ニメクリテハ成木川ヲ界トシ
テ對岸ハ多磨郡富岡村ナリ北ハ成木川ヲ
隔テ前ケ貫村ニシテ矢下風村ニモ少シク
係レリ東西十四町南北廿町アマリ民戸六
十一山根ニ散住ス地形東西ヘハ平地續キ
ニテ南北ニ山アリテ土地高低ナリ土性小
石交リノ眞土黒野土等ナリ陸田多ク水田
少シ用水ハ村内谷間ヨリ出ル水ヲ沃ケリ
寛文八年雨宮勘兵衛檢地シテ貢稅ヲ定メ
正保ノ頃ハ御料所ナリシカ延享三年田安
殿領知トナリテ今モ替ラス此餘領主林及
ヒ妙圓寺領入會ヘリ又持添ノ新田十二町
二段餘アリ延享元年川崎平右衛門檢地ナ

タ、スコ、ニハ民家ナシ御料所ニテ今モ川崎平右衛門支配スル所ナリ

高札場 村ノ東寄

小名 前ケ貫 下平 三ツ澤 門神

成木川 村ノ地多磨郡今井村ヨリ來リ當村西ノ界ヲ環流シ凡十四
五丁ヲ經テ落合村ニツク川幅六七間ヨリ十間ニ至ル

橋 成木川ニ架ス長八間幅三
尺下畑村當村ニテ造ル

八幡社 慶安二年社領七石ノ御朱印ヲ賜フ村ノ
鎮守ニシテ例祭八月十五日觀喜寺ノ持

觀喜寺 岸高山福壽院ト號ス新義眞言宗ニテ郡中新堀村聖天院末ナリ本
尊不動ヲ安ス中興法流開山山仲敏實曆十三年二月廿四日示寂ス

妙圓寺 岩淵山ト號ス曹洞宗多磨郡根ケ布村天寧寺末寺領十三石
二斗ノ御朱印ヲ賜ヘリ本尊地藏ヲ安ス開基詳ナラス

栗原院 山號ナリ前寺ト同宗ニテ入間郡木蓮寺村瑞泉
寺ノ末ナリ本尊地藏ヲ安ス開基詳ナラス

岩井堂 成木川ノ南岸ニテ巖上ニ建リ堂二間四方觀音ヲ安ス村持ナリ岩ノ高
五丈六尺下ニ淵アリ水深サ一丈二三尺ハカリツノ圖右ノ如シ

落合村 落合村ハ郡ノ南多磨郡ノ界ニアリ加治領ニ屬ス村ノ北邊ニテ入間川成木川ノ二流

落合シナレハ村名ノ起リハ論ナカルヘシ江戸ヨリ十二里餘ノ行程ナリ四境東ヨリ

南ニカ、リテ阿須村ニ續キ又山ヲ隔テ、南ハ多磨郡今井村ニ及ヒ西ハ岩淵村ニ隣

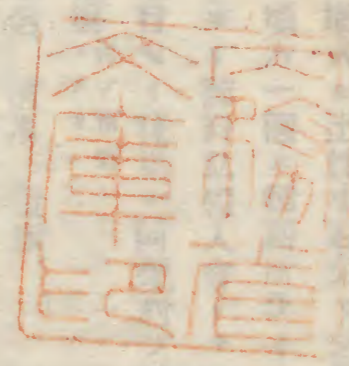
リ北ハ成木川ノ落合ヲ界トシテ對岸ハ前ケ貫川寺ノ二村ナリ笠縫村ノ地モ少シク

新編武蔵風土記

高札場村ノ西寄 小名 清水 新坂 入間川村ノ西前ケ貫村ヨリ來リ村ノ北岸ヲ流ルハコト六丁許日示 成木川村ノ西岩淵村ヨリ來リ村内ニ亘ルコト六丁許 橋二ヶ所 堤入間川ノ南岸ニアリ長七十 白鬘社村内ノ鎮守ナリ例祭 玉藏寺神宮山ト號ス新義眞言宗郡中新堀 西光寺無量山ト號ス曹洞宗ニテ郡中飯能村能仁寺末寺ナリ本尊彌陀 藥師堂光

係レリ東西十二町餘南北九町アマリ地形東西ハ平地續キ南ハ山ニテ北ハ川ナリ山ノ根カタニ據リ川岸ニ添ヒ家居スル民戸五十一水田ハ陸田ノ三カ一ナリ用水ハ成木川ヲ堰入ル土性小石交リノ眞土ナリ寛文八年深谷喜右衛門檢地シテ貢稅ヲ定ム正保ノ頃ハ一圓ニ御料所ナリシカ何ノ頃カ分テ割テ鈴木善八郎カ先祖某采邑三賜ハリシヨリ御料私領入會トナレリ今御料ノ方ハ川崎平右衛門支配シ私領ハ鈴木善八郎知行セリ秣場ハ阿須村ノ地へ入會テ刈トレリト云

持寺ノ



新編武藏風土記稿卷之一百七十八終

Main body of text in vertical columns, containing various entries and descriptions from the gazetteer.

